

令和6（2024）年度博士前期課程（一般選抜・秋期試験）問題 目次

外国語試験			ページ
英語・ドイツ語・フランス語・露語・中国語・西語			1 - 8
専門試験			ページ
人文学専攻	哲学コース	哲学哲学史	9 - 10
		科学技術社会論	
		臨床哲学	11 - 11
		中国哲学	
		インド学・仏教学	
	グローバルヒストリー・ 地理学コース	東洋史学	12 - 16
		西洋史学	17 - 18
		人文地理学	19 - 20
	文学コース	中国文学	21 - 22
		英米文学	23 - 25
		ドイツ文学	
		フランス文学	26 - 27
		テキスト環境論	28 - 30
	比較・対照言語学コース	比較・対照言語学	
	日本学専攻	基盤日本学コース	現代日本学
日本史学			32 - 39
考古学			40 - 42
日本文学・日本語史学			43 - 48
基盤日本語学			49 - 51
芸術学専攻	アート・メディア論コース	アート・メディア論	52 - 53
	美学・文芸学コース	美学	54 - 54
		文芸学	
	音楽学・演劇学コース	音楽学	55 - 58
		演劇学	59 - 61
	日本東洋美術史・西洋美術史コース	日本東洋美術史	62 - 65
		西洋美術史	66 - 69

令和6（2024）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題
外国語試験 英語
[問題用紙は2枚です。]
（1枚目/2枚中）

★一題ごとに別の解答用紙を用い、問題番号を記入すること。

I. 次の英文を読んで、下線部を日本語に直しなさい。

※ 問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。
なお、出典は以下の通りです。

【出典】William Bynum (2008) *The History of Medicine*. Oxford : Oxford University Press.
p.19 l.2~l.15

II. 次の英文を読んで、下線部を日本語に直しなさい。

※ 問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。
なお、出典は次頁の通りです。

（2枚目/2枚中）

【出典】 Paul Theroux, 'Out of Sir Vidia's Shadow,' *London Review of Books* Vol. 44 No. 4 (24 February 2022) <https://www.lrb.co.uk/the-paper/v44/n04/paul-theroux/diary>. 一部変更.

Ⅲ. 次の文章の下線部を英語に訳しなさい。

※ 問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。

なお、出典は以下の通りです。

【出典】 藤枝善之（編著）『見て学ぶアメリカ文化とイギリス文化 映画で教養をみがく』SCREEN 新書, 2012. p.115 l.12～p.116 l.5.

令和6(2024)年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程／一般選抜・秋期試験)入学者選抜試験問題
外国語試験 ドイツ語
[問題用紙は1枚です]
(1枚目／1枚中)

問題1 次のドイツ文を日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。
なお、出典は以下のとおりです。

(出典: Sautter, Udo: *Die 101 wichtigsten Personen der Weltgeschichte*. München: Beck 2002, S.18/Z.1-11. なお出題にあたり、本文の一部を改変している。)

問題2 次のドイツ文を日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。
なお、出典は以下のとおりです。

(出典: Pohl, Manfred: *Geschichte Japans*. München: Beck 2002, S.46/Z.1-9. なお出題にあたり、本文の一部を改変している。)

令和6（2024）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題

外国語試験 フランス語

〔問題用紙は1枚です。〕

問1 次の文章を日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。
なお、出典は以下のとおりです。

【出典：Kundera, *L'Insoutenable Légèreté de l'être* [1984], Paris, Gallimard, « Folio », 1989,
p. 76, l. 2-9.】

問2 次の文章を日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。
なお、出典は以下のとおりです。

注) répit : 休止 essoufflement : 息切れ pillage : 掠奪 sporadique : 散発的な

【出典：<https://www.lemonde.fr/societe/article/2023/07/01/>】

問3 次の文章を日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。
なお、出典は以下のとおりです。

注) transpirer : 汗をかく haleter : 息を切らす s'assurer que... : ～であることを確認する

【出典：<https://www.jde.fr/france/2023/07/11/>】

[1枚目/1枚中]

令和6（2024）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻

（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題

外国語試験 イタリア語

[問題用紙は2枚です。]

（1枚目/2枚中）

I. 以下の文章を読んで設問に答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

La Storia dell'Arte 5: Il Gotico, Milano, Mondadori Electa, 2006, p.123, l. 10-22.

問1. 下線1) を日本語に訳しなさい。

問2. 下線2) を日本語に訳しなさい。

(2枚目/2枚中)

II. 以下の文章の囲み部分を日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

Salvatore Settis, *Il Paesaggio come bene comune*, Napoli, La scuola di Pitagora editrice, 2013,
p.5, l.1 - p. 6, l. 12.

令和6（2024）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題
外国語試験 中国語
〔問題用紙は2頁です。〕

I 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。解答はすべて日本語を用いること。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。
なお、出典は以下のとおりです。

——劉震雲『一句頂一万句』（長江文藝出版社、2009年）34頁による。

- 問1 「一挥而就」と「猶豫再三」の二つの成語の意味するところを説明しなさい。
- 問2 「病没把准」の「把」の意味するところを説明しなさい。
- 問3 下線部を拼音字母に改めなさい。
- 問4 下線部を日本語に訳しなさい。
- 問5 下線部は「老胡他爹」のどのような人生観・処世観をあらわしているか、前後の文脈をふまえて説明しなさい。

II 次の文章を読み、後の問いに答えなさい。解答はすべて日本語を用いること。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。
なお、出典は以下のとおりです。

——里爾克著、梁宗岱訳『柏列格的隨筆』（『宗白華散文』〔人民文学出版社、2022年〕
36-37頁引）により、一部改変。

- 問1 下線部(1)を拼音字母に改めなさい。
問2 下線部(1)を日本語に訳しなさい。
問3 下線部(2)の「这些」は何を指しているか、作者が挙げる諸事象の最初の一つを日本語で述べなさい。
問4 下線部(3)はどのように理解すべきか、前後の文脈をふまえて説明しなさい。

(1枚目/2枚中)

令和6(2024)年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程/一般選抜・秋期試験) 入学者選抜試験問題
人文学専攻 哲学コース (哲学哲学史受験分野) 専門試験

[問題用紙はこの用紙を含めて2枚です。]

- 注意 ①解答はすべて添付の所定の解答用紙に記入すること
②問題用紙は持ち帰ること

I. 以下の独語文を日本語に全訳しなさい。

Schon scholastische Moralisten haben da eine Klärung gebracht, indem sie darauf aufmerksam machten, daß man ein Gebot als positives oder als negatives deuten könne. Kein positives aber verlange in jedem Augenblick Erfüllung. In diesem Sinne gilt keines von irgendwelcher Allgemeinheit ausnahmslos. Selbst der Satz: „Liebe Gott über alles und deinen Nächsten wie dich selbst.“ Sonst dürfte man ja nicht einmal schlafen, weil man dabei nicht aktuell an Gott oder die Mitmenschen denken kann. Hingegen gilt ihnen als ausnahmslos: „Du sollst dich nie gegen das, was Gott verlangt, entscheiden“, „Du sollst nie irgendeine Lust höher stellen als die Erfüllung der Gebote Gottes und deines Gewissens“.

(Franz Brentano, *Grundlegung und Aufbau der Ethik*, A. Francke AG. Verlag, 1952, S. 306, Z. 24-35.)

II. 「行為と価値」というテーマで論じなさい。

III. 以下の術語の中から、2項目を選択し、その番号を記した上で3行程度で説明しなさい。

1. 「人間は万物の尺度である」
2. 永遠真理創造説
3. 理性の公的使用
4. 永劫回帰
5. 所与の神話 (セラース)

令和6（2024）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題
人文学専攻 哲学コース（臨床哲学受験分野） 専門試験
[問題用紙が1枚・添付資料が1枚、全部で2枚です]

問題1 次のA～Eの中から2つを選び、簡潔に論じなさい。

- A. 他者が重視されることの現代的な意味について、哲学・倫理学の学説に関連づけて論じなさい。
- B. 精神と身体について、哲学・倫理学の学説に関連づけて論じなさい。
- C. 優生思想について、諸学説に関連づけて論じなさい。
- D. コミュニケーションと規範の関係について、諸学説に関連づけて論じなさい。
- E. 精神医学によって下される診断の社会における意味について、複数の視点から論じなさい。

問題2 別紙資料は、奥田太郎の論文「ピーター・シンガーはなぜあれほど憎まれてしまったのか? : 哲学分野における〈応用〉的試み初期の倫理問題を再訪する」の一部である。論文で言及されているピーター・シンガーは、人々の道徳的判断を中立的に記述するのではなく、自ら「善い」と考えたことを実行に移すべきであるとする倫理学者として知られている。論文は、この人物が引き起こしたいわゆる「シンガー事件」を取り上げ、今日の倫理問題に対して（議論を理知的に構成しようとする）哲学者がどのようにコミットできるのかを論じている。資料を読んで、シンガー事件に対するあなたの考えを展開しなさい。

別紙資料は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次の通りです。
奥田太郎「ピーター・シンガーはなぜあれほど憎まれてしまったのか? : 哲学分野における〈応用〉的試み初期の倫理問題を再訪する」、『臨床哲学ニューズレター』第4号、2022年、56-68頁（別紙資料は60頁16行目～62頁5行目を抜粋）。

令和6(2024)年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程/一般選抜・秋期試験) 入学者選抜試験問題
人文学専攻 グローバルヒストリー・地理学コース (東洋史学受験分野) 専門試験
[問題用紙は6枚です。]
(1枚目/6枚中)

[問題用紙は6枚です。I～IVについて、それぞれ別々の解答用紙を使用すること]

I 論述問題

次の2問から1問を選び、解答しなさい。解答に当たっては、いずれを選んだかを冒頭に記入すること。

- (A) アジア史上における駅伝制について、具体例を挙げつつ説明しなさい。
- (B) 中国の歴史上の人口に関する学術的議論について、知るところを述べなさい。

II 基礎事項問題

次の(a)～(j)の事項について知るところを、それぞれ2行程度で簡潔に答えなさい。

[問題Iとは別の解答用紙を用いること]

- | | | |
|---------------|------------|-----------------|
| (a) 秋瑾 | (b) 勘合貿易 | (c) カリフ (ハリーフア) |
| (d) 『真臘風土記』 | (e) 顧炎武 | (f) 柔然 (g) 食貨志 |
| (h) 正統論 (正閏論) | (i) 『元朝秘史』 | (j) サルフの戦い |

Ⅲ 漢文問題

次の漢文は、清代の王鳴盛が著した『十七史商榷』巻6・史記・通飲食の一部分である。これを読んで、語注も参照しつつ、下の問いに答えなさい。なお、一部の箇所では標点を省略している。問題Ⅰ・Ⅱとは別の解答用紙を使用すること。

史記酷吏傳、盜賊滋起、乃使范昆等發兵興擊、^①斬首大部或至萬餘級、及以法誅通飲食、坐連諸郡、甚者數千人。通飲食坐連、漢作通行飲食坐相連。彼尹賞傳云、^②守長安令、捕長安中輕薄少年惡子數百人、皆劾以爲通行飲食羣盜。(中略)

^③後書陳寵傳、寵子忠上疏曰、穿窬不禁、則致疆盜、疆盜不斷、則爲攻盜。故亡逃之科、憲令所急、通行飲食、罪致大辟。

^④注、通行飲食、猶今律云過致資給、與同罪也。飲音蔭、食音寺。

語注 守長安令：長安の知事代理。
穿窬：窃盜。 疆盜：強盜。 攻盜：追いはぎ
注：李賢等による注。 過致：犯人隠匿

- 問1 傍線部①をすべてひらがなで書き下しなさい。
問2 傍線部②をすべて現代日本語訳しなさい。
問3 傍線部③をすべてひらがなで書き下しなさい。
問4 傍線部④をすべて現代日本語訳しなさい。

(3 枚目/6 枚中)

IV 選択外国語問題

下の(1)～(5)から 1 問を選んで解答しなさい。ただし、問題 I・II・III とは別の解答用紙を使用し、選択した問題番号を記入すること。

(1) 英語問題

語注も参照しつつ、次の英語の文章をすべて日本語に訳しなさい。ただし、注番号は無視すること。

語注 Han-hai : 函海。李調元 (1734-1803) による叢書 (なお、前行の Li-T'ian-yüan は Li-T'iao-yüan の誤り)

Friedrich Hirth : フリードリヒ=ヒルト (ドイツ人の中国学者)

maritime customs inspector : 海関税務司

【問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。 Kapil Raj, “Rescuing Science from Civilisation: On Joseph Needham’s “Asiatic Mode of (Knowledge) Production.” In Arun Bala and Prasenjit Duara eds., *The Bright Dark Ages*, Leiden and Boston, Brill, 2016, p. 260, l. 24 – p .261, l. 10】

(4 枚目/6 枚中)

(2) ドイツ語問題

次のドイツ語の文章をすべて日本語に訳しなさい。

【問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。Sh. Ando, *Timuridische Emire nach dem Mu'izz al-Ansāb*, Berlin: Klaus Schwarz, 1992, p. 1, ll. 2–12】

(3) フランス語問題

次のフランス語の文章をすべて日本語に訳しなさい。

【問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。L. Tang, *Le christianisme syriaque dans la Chine des Mongols Yuan*. In: P. G. Borbone & P. Marsone (eds.), *Le christianisme syriaque en Asie centrale et en Chine*, Paris: Geuthner, 2015, p. 63, ll. 7–16】

(5 枚目/6 枚中)

(4) ロシア語問題

次のロシア語の文章をすべて日本語に訳しなさい。

※ Маймайчен：「買売城」。現アルタン=ブラク市（モンゴル国）。ロシアのキャフタと国境を挟んで相對する。

【問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。И. Ф. Попова & Т. Таката (ed.), *Словари кяхтинского пиджина*, Москва: Наука-Восточная литература, 2017, p. 10, ll. 2–8】

(6 枚目/6 枚中)

(5) 中国語問題

次の中国語の文章を読み、下記の問いに答えなさい。ただし、注番号は無視すること。

【問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。湯志傑「封建帝國的形成及其分化」(『國立政治大學社會學報』36, 2004) p. 80, ll. 6-16。ただし字句は適宜改めた】

問1 文中の(ア)～(エ)に入れるべき語を、下記のピンインを参考に、漢字で答えなさい。
なお、字体(簡化字または繁體字)は、問題文に合わせることを。

(ア) fǎnyìng chū (イ) suǒwèi (ウ) cóngshìnéngyè (エ) yǒuguān

問2 文中の下線部 (a)～(d)の漢字を、すべて標準漢語ピンインに直しなさい(声調も付すこと)。

問3 上の中国語のうち、四角で囲んだ部分(冒頭の6行)を、日本語に訳しなさい((ア)～(ウ)の部分も訳すこと)。

令和6(2024)年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻

(博士前期課程/一般選抜・秋期試験) 入学者選抜試験問題

人文学専攻 グローバルヒストリー・地理学コース (西洋史学受験分野) 専門試験

[問題用紙は2枚です。]

(1枚目/2枚中)

注意：解答は、別紙解答用紙に問題番号を書いてから記入しなさい。また、各問題の枝間の記語や番号を記すこと。

設問1. ①～③から1問題を選択し、解答しなさい。

① かつてヨハン・ホイジンガーは、人類をホモ・ルーデンスだと看破したが、遊びは有史以前より人間生活の不可欠な一部をなしてきた。古代、中世、近代、現代などの大きな時代を対象として、その時代の余暇、あるいは非労働時間の特徴について論じなさい。

② 言語論的転回は、歴史学の研究に何をもたらしましたか。言語論的転回以降の研究手法をめぐる議論を踏まえて説明しなさい。

③ 中等教育(高等学校)では、新科目として、世界史と日本史を統合した「歴史総合」科目が始まっている。どのようにすれば、日本史(自国史)と世界史・西洋史(外国史)の総合は可能になるだろうか。具体例を上げて、自由に論じなさい。

設問2. ①～⑥の語句の中から2つを選択し、説明しなさい。

- ① 軍人皇帝
- ② エラスムス (Desiderius Erasmus)
- ③ 日独伊三国同盟
- ④ オリエンタリズム
- ⑤ ユルゲン・ハーバーマス
- ⑥ シャンパーニュ大市

設問3.

次の文章は、Alan K. Bowman and Greg Woolf (eds.), *Literacy and Power in the Ancient World* (Cambridge, 1994), p.33, l.1~p.34, l.39 である。これについて以下の設問に答えなさい。

- (1) 下線部 1、2 を日本語に訳しなさい。
- (2) 著者はギリシア都市国家における「書くこと」と権力との関係が、どのようなものだったと想定しているか。

引用した文章は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

令和6（2024）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題
人文学専攻 グローバルヒストリー・地理学コース（人文地理学受験分野）専門試験

〔問題用紙は2枚です。〕

（1枚目/2枚中）

（中辞典程度の英語辞書の持ち込みを可とします）

以下の問1～問3に答えなさい。解答は解答用紙に記入のこと。

問1

つぎの(a)～(f)は、人文地理学に関連する用語を挙げたものである。これらの中から1つを選んで簡潔に説明しなさい。なお、選んだ項目のアルファベットを明記すること。

- | | |
|----------------|----------------|
| (a) ローカル・ガバナンス | (b) プランテーション |
| (c) 文化進化 | (d) マルトンヌの乾燥指数 |
| (e) 先住民地図 | (f) 除草農業 |

問2

つぎの(a)～(d)の4つの問いの中から1つを選んで解答しなさい。なお、選んだ問いのアルファベットを明記すること。

- (a) T.ヘーゲルストランドが行った代表的な研究を挙げてその内容を説明しなさい。
- (b) 生物学的適応と文化的適応について、それぞれ例を挙げて説明しなさい。
- (c) F.ラッツェルの形態圏論について説明しなさい。
- (d) 大都市におけるエスニック集団の集住について、例を挙げて説明しなさい。

(2枚目/2枚中)

問3

次の英文はある学术论文の要旨の全文である。これを読んで、下の問い(問ア・問イ)に答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

Laland, K.N., Odling-Smee, J. and Feldman, M.W. 2000. Niche construction, biological evolution and cultural change. *Behavioral and Brain Sciences* 23: 131-175 (131ページのAbstract全文)

問ア

上の英文の全文を日本語に訳しなさい。

問イ

この論文が提示する進化モデルにおいて、環境、文化、進化は互いにどのような関係を持つものと考えられるか。要旨から推測して述べなさい。

令和6(2024)年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻

(博士前期課程/一般選抜・秋期試験) 入学者選抜試験問題

人文学専攻 文学コース (中国文学受験分野) 専門試験

[問題用紙は2頁です。]

I 次の二つの作品を読み、後の問題に答えなさい。

一

碧雲天。黄葉地。秋色連波。波上寒煙翠。山映斜陽天接水。芳草無情。更在斜陽外。

黯鄉魂。追旅思。夜夜除非。好夢留人睡。明月樓高休獨倚。酒入愁腸。化作相思淚。

二

對瀟瀟暮雨灑江天。一番洗清秋。漸霜風淒緊。關河冷落。殘照當樓。是處紅衰翠減。苒苒物華休。惟有長江水。無語東流。

不忍登高臨遠。望故鄉渺邈。歸思難收。嘆年來蹤跡。何事苦淹留。想佳人。妝樓顫望。誤幾回。天際識歸舟。爭知我。倚闌干處。正恁凝愁。

問1 二つの作品の押韻について、韻字をすべて挙げながら説明しなさい。

問2 二つの作品の共通点と相違点をそれぞれ三つ挙げて述べなさい。

II 次の二つの文章を読み、後の問題に答えなさい。

曹植「與楊德祖書」

蓋有南威之容，乃可以論其淑媛，有龍泉之利，乃可以議其斷割。劉季緒才不能逮於作者，而好詆訶文章，掎摭利病。昔田巴毀五帝，罪三王，皆五霸於稷下，一旦而服千人，魯連一說，使終身杜口。劉生之辯，未若田氏，今之仲連，求之不難，可無息乎。

(1) 人各有好尚，蘭茝蓀蕙之芳，衆人所好，而海畔有逐臭之夫，咸池六莖之發，衆人所共樂，而墨翟有非之之論，豈可同哉。

劉勰『文心雕龍』知音

夫篇章雜沓，質文交加，知多偏好，人莫圓該。慷慨者逆聲而擊節，醞藉者見密而高蹈，浮慧者觀綺而躍心，愛奇者聞詭而驚聽。(2) 會己則嗟諷，異我則沮棄，各執一隅之解，欲擬萬端之變。

所謂東向而望，不見西牆也。凡操千曲而後曉聲，觀千劍而後識器，故圓照之象，務先博觀。

問1 下線部(1)(2)を現代日本語に訳しなさい。

問2 曹植と劉勰は文学作品の鑑賞・批評について自らの見解を述べている。

両者の共通点と相違点はどのようなものか、二つの文章に即して述べなさい。

令和6（2024）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題
人文学専攻 文学コース（英米文学受験分野） 専門試験
[問題用紙は4枚です。]
（1枚目/4枚中）

★一題ごとに別の解答用紙を用い、問題番号を記入すること。

I 次の英文を読んで、著者の absolute truth についての考えを、日本語で説明しなさい。

※ 問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。

なお、出典は以下の通りです。

【出典】 Terry Eagleton, *After Theory* (London: Penguin, 2003) p.103, l.1 – p.106, l.12. 一部改変。

II 以下の文章はある小説の冒頭部分である。これを読んで、一人称の語り手兼主人公、とりわけこの語り手が言及する人物(Robert Cohn)の人生をめぐってどのような物語的状況が読み取れるか、300字程度の日本語で説明しなさい。

※ 問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。

なお、出典は以下の通りです。

【出典：Ernest Hemingway, *The Sun Also Rises*. 1926. Scribner, 2006. p.11 l.1~p.12 l.27】

III 次の英詩を読んで、設問に答えなさい。

※ 問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。

なお、出典は以下の通りです。

1. この詩全行を日本語になおしなさい。
2. この詩には、これが書かれた時代特有の価値観が書き込まれている。それについて解釈しなさい。

【出典】 *The Norton Anthology of English Literature*, 9th edition, ed. Stephen Greenblatt (New York: W. W. Norton & Company, 2012), p. 335, l. 20-28.

IV 次の日本語を英語になおしなさい。

※ 問題文は、著者の著作権などに配慮し、省略します。

なお、出典は以下の通りです。

【出典】 梶正行、木村茂雄、武井暁子編『土着と近代——グローバルの大洋を行く英語圏文学』（音羽書房鶴見書店，2015）p. 317, l. 5～l. 8. 一部改変。

令和6（2024）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題

人文学専攻 文学コース（フランス文学受験分野） 専門試験

[問題用紙は2枚です。]

問1 次の文章を日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。
なお、出典は以下のとおりです。

注) aux dépens de... : ~を犠牲にして amollir : 柔弱にする lie : 最下層
se faire justice : 自分を正当に評価する

【出典 : Fénelon, *Les Aventures de Télémaque* [1699], éd. Jacques Le Brun, Paris, Gallimard,
« Folio Classique », 1995, 17^e Livre, p. 369, l. 22 – p. 370, l. 3.]

[1枚目 / 2枚中]

問2 次のA～Fの人名または用語から2つを選び、それぞれについて3～5行程度の日本語で説明しなさい。

A. Simone de Beauvoir

B. Milan Kundera

C. Pierre Carlet de Chamblain de Marivaux

D. Le Parnasse

E. Blaise Pascal

F. *Roman de la Rose*

問3 博士前期課程におけるあなたの研究主題と研究計画について、フランス語で具体的に述べなさい。

[2枚目 / 2枚中]

令和6（2024）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題
人文学専攻 文学コース（テキスト環境論受験分野） 専門試験

〔問題用紙は 3 枚です。〕
（1枚目/ 3 枚中）

I 次の英文を読み、括弧「 」内を日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

出典：Paula M. L. Moya and Michael R. Hames-García, editors. *Reclaiming Identity: Realist Theory and the Predicament of Postmodernism* (U of California P, 2000, p. 3, ll. 1–16)

II 次の英国の詩とその翻訳とを比較し、翻訳にみる改変や工夫について論じなさい。なお原詩は William Oldys (1696 -1761)による “On A Fly Drinking Out Of His Cup” です。

出典は Lafcadio Hearn, *Insect Literature*, Translated and Annotated by M. Ōtani (Tokyo: Hokuseido, 1921) , pp. 448-449 です。

Busy, curious, thirsty fly,
Drink with me, and drink as I;
Freely welcome to my cup,
Couldst thou sip and sip it up.
Make the most of¹ life you may,
Life is short and wears away.

Both alike are mine and thine
Hastening quick to their decline;
Thine's a summer, mine's no more,
Though repeated to threescore;²
Threescore summers, when they're gone,
Will appear as short as one.

忙しき、奇しき、渴ける蠅や。
我と飲めよや、我が飲むごさく。
啜りすゝりて盡くすを得なば、
氣儘に來よや 我が盃へ。
生を楽しめ、力の限り、
生は短し、時経つ早し。

なれど我さは 同じく早く
死滅の境へ 急いで走る。
なれば一と夏、我が命(めい)間(ま)無し。
夏を六十 繰返せしも。
夏の六十 暮れ過ぎ去れば、
短かく見えん たゞ一と夏さ。

1. to make the most of—to use to the best advantage; use to the uttermost.

2. thrice twenty; sixty.

Ⅲ 次の文は中野重治の小説「五匁の酒」の一部です。これを読み、後の問いに答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

出典 中野重治「五匁の酒」(『現代文学大系三六 中野重治集』筑摩書房、一九六六年、三九九頁上段八行目、四〇二頁上段三行目)

- 問一 傍線部①「すくなくとも僕は——戦争、戦争——すべてが、他で与えられるを見送ってきた」はどうか、「戦争、戦争」という言葉が挿入されていることの意味と効果に着目しながら説明しなさい。
- 問二 「完全にくたばってしまった」にもかかわらず、「僕」が傍線部②のように「彼の乞いを入れた」のはなぜだと思われるか。「僕」が「完全にくたばってしまった」理由を推察しながら論じなさい。

令和6(2024)年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程/一般選抜・秋期試験) 入学者選抜試験問題

日本学専攻 基盤日本学コース (現代日本学受験分野) 専門試験

[問題用紙は1枚です。]

(1枚目/1枚中)

[I] 日本研究の観点から、「国民国家」について論じなさい。

[II] 次の項目から、4項目を選び、各項目について5行程度で説明しなさい。

- (1) 『草茅危言』 (2) 近代公娼制 (3) 黒田清輝 (4) 「世界史の哲学」
(5) 丸山眞男 (6) 宮本常一 (7) 反復帰論
(8) バブル経済 (9) 若桑みどり (10) 戦後50年国会決議
(11) 靖国神社 (12) グローバル・ヒストリー

[III] 次の4問のうちの1つを選んで答えなさい。

- (1) 日本の近現代文化における裸体イメージについて、ジェンダー論的な観点から具体的な事例を挙げて論じなさい。
(2) アジア太平洋戦争以前の日本における人の移動について、時期ごとの特徴に留意して論じなさい。
(3) アジア太平洋戦争の経験は戦後の日本における思想の展開にどのような影響を与えたか、冷戦構造の影響にも留意しながら論じなさい。
(4) 当事者研究の意義と困難な点について、具体的な事例を挙げて論じなさい。

(一枚目／八枚中)

令和六(二〇二四)年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻

(博士前期課程／一般選抜・秋期試験) 入学者選抜試験問題

日本学専攻 基盤日本学コース(日本史学受験分野) 専門試験

【注意】問題用紙は全部で八枚あります。解答用紙は横長に使い、縦書きで解答して下さい。

(I) 次の問いに答えなさい。

[45点]

古代・中世・近世・近現代のそれぞれの時代に関わる日本の世界遺産を一つずつ取り上げ、具体的に解説しなさい。

(II) 次の歴史的名辞(1)～(4)のうち三つを選び、研究史上の論点をふまえて説明しなさい。

[30点]

(1) 郡司 (2) 治天の君 (3) 京都所司代 (4) 日比谷焼打ち事件

(問題文は次に続く)

(二枚目／八枚中)

(Ⅲ) 次の設問 (1) ～ (4) のうち、二つを選んで答えなさい。

[50点]

(1) 次の史料は『続日本紀』宝亀十年(七七九)五月丁巳(十七日)条である。この史料を読んで、①～③の問いに答えなさい。なお、史料は一部改変した箇所もある。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【黒板勝美・国史大系編修会編『新訂増補国史大系 2 續日本紀』(吉川弘文館、一九六六年)四四九頁】

- ① 傍線 a の「朝堂」について、その内容を簡潔に記しなさい。
- ② 傍線 b を漢字・平仮名交じりの書き下し文にしなさい。あわせて、文中の「耽羅」について、知るところを述べなさい。
- ③ 傍線 c を漢字・平仮名交じりの書き下し文にしなさい。

(問題文は次に続く)

(三枚目／八枚中)

- (2) 次の史料は、黒川高明編『源頼朝文書の研究 史料編』(吉川弘文館、一九八八年) 一三七頁からの引用である。この史料を読んで、①～④の問いに答えなさい。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【黒川高明編『源頼朝文書の研究 史料編』(吉川弘文館、一九八八年) 一三七頁】

- ① 傍線 a を漢字・平仮名交じりの書き下し文にしなさい。
- ② 傍線 b 「甲乙之輩」について説明しなさい。
- ③ 傍線 c を漢字・平仮名交じりの書き下し文にしなさい。
- ④ この文書に署名している将軍家政所職員のうち、最も身分が高い者と低い者を、文書中の表記を用いて記しなさい。

(問題文は次に続く)

(四枚目／八枚中)

- (3) 次の史料は、宮内庁書陵部編『図書寮叢刊 九条家歴世記録 六』(宮内庁書陵部、二〇二二年)所収の『道房公記』寛永十八年七月二日条である。この史料を読んで、①～③の問いに答えなさい。なお、史料の傍注を一部改変した箇所がある。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【宮内庁書陵部編『図書寮叢刊 九条家歴世記録 六』(宮内庁書陵部、二〇二二年)
二五八頁】

- ①この史料における「將軍家」とは誰のことか。人名を漢字で答えなさい。
- ②この史料の「午後」から「是院御祈云々」までを漢字・平仮名交じりの書き下し文にしなさい。
- ③この史料の「午後」から「是院御祈云々」までを現代語訳しなさい。

(問題文は次に続く)

(五枚目／八枚中)

- (4) 次の史料は、一八八七年一〇月に高知県人民が元老院に提出した「建言書(租税徴収ヲ軽減スベキ事・言論集会ヲ自由ニスベキ事・外交失策ヲ挽回スベキ事)」の一部である。この史料を読んで、①～④の問いに答えなさい。なお、史料は一部改変した箇所もある。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【色川大吉・我部政男監修『明治建白書集成』第八巻、筑摩書房、一九九九年）
四五九頁】

- ① この建言書の提出をきっかけに拡大した政治運動の名称を記しなさい。
- ② 傍線 a で建言書を提出した高知県人民が示した歳出削減方法について、史料に即して述べなさい。
- ③ 文中の『 』で括った部分の内容を、史料の記述に即して正確にまとめなさい。
- ④ 傍線 b について、建言書を提出した高知県人民が提案している「軍制」と、その効用について述べなさい。

(問題文は次に続く)

(六枚目／八枚中)

(Ⅳ) 次の設問(1)～(3)のうち、一つを選んで答えなさい。

[25点]

(1) 次の古文書を漢字・平仮名交じりの書き下し文にしなさい。解答にあたっては、できるだけ原文にしたがって改行すること。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【元応二(一三二〇)年四月五日「後伏見上皇院宣」(東寺百合文書、函47号、東寺百合文書WEB) ↑

(問題文は次に続く)

(七枚目／八枚中)

(2) 次の古文書の見取書(くずし字をそのまま現在の文字に置きかえて写すこと)を記しなさい。なお、原文にしたがって改行すること。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお、出典は以下の通りです。

【国立公文書館内閣文庫編『内閣文庫所蔵史籍叢刊 第八九巻 雜留(一)』(汲古書院、一九八八年) 一五八頁上段】

(問題文は次に続く)

(八枚目／八枚中)

- (3) 次の史料は、日露戦争中の一九〇五年五月五日に、後備第五十八聯隊第一大隊第二中隊の歩兵伍長稲葉岸之助が、郷里の稲葉市郎右衛門に書き送った軍事郵便である。この史料の「 」で囲んだ部分について、見取書（くずし字をそのまま現在の文字に置きかえて写すこと）を記しなさい。

著作権に配慮して、本文は省略します。なお本文の内容は、明治後期の地方名望家文書群に収められている軍事郵便です。

令和6（2024）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題
日本学専攻 基盤日本学コース（考古学受験分野） 専門試験
[問題用紙は3枚です。]
（1枚目/3枚中）

問1 次の英文を読んで、以下の問いに答えなさい。

- (1) 下線部①の概念を提唱した人類学者の名をあげなさい。
- (2) 枠内②を日本語にしなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

Wendy Ashmore and Robert J. Sharer 2000, *Discovering Our Past: A Brief Introduction to Archaeology* (3rd Edition),
Mayfield Publishing Company, p.181 ll.30-42.

問2 次の英文全体を日本語に訳しなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

Grahame Clark 1957, *Archaeology and Society* (3rd Edition), Methuen, p.237 ll.1-13.

(2枚目／3枚中)

問3 次の2つの図を説明しながら、土器の型式学的研究法について、詳しく述べなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

Flinders Petrie 1901, *Diospolis Parva: The Cemeteries of Abadiyeh and Hu, 1898-9*, The Egypt Exploration Fund, London, Plate II.

末永雅雄・小林行雄・藤岡謙二郎 1943『大和唐古彌生式遺跡の研究』京都帝国大学文学部考古学研究報告、第66図。

(設問の都合上、出典は省略する)

(3枚目／3枚中)

問4 次の語句等について、それぞれ詳しく説明しなさい。

- (1) Antonine Wall
- (2) 螺旋状暗文
- (3) 白滝遺跡群
- (4) 福井洞窟
- (5) 菜畑遺跡
- (6) 金井下新田遺跡
- (7) こうもり塚(黒媛塚)古墳
- (8) 百濟寺跡
- (9) 和泉式土器
- (10) X線回折法

〔問題用紙は六枚です。〕

(一枚目／六枚中)

〔一〕 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(この問題については解答用紙一枚を用い、縦書きにすること)

いづれの御時にかありけむ、大御息所おほみよすところと聞こゆる御局に、大和に親ありける人さぶらひけり。親いとかなしうして、男などもあはせざりけるを、御息所の御兄きょう、年頃いひわたり給ふを、①しばしはさらさらに聞かざりけるに、いかゞありけむ、親いかゞいはむと歎きたりけるを、年頃へにければ聞きつてけり。②されど宿世しゆくせいこそはありけめ、とてことにはざりけり。たゞ若き人はたのみがたきものぞとぞいひけるほどに、時の大おほい臣みまうきみに婿にとられにけり。親もさればこそなどいひければ、この女、いと恥つかしと思ふほどに、この男のもとより、人おこせたりける、この女の親は五条わたりなりける所に、来て、柿の紅葉に歌をなむ書きたりける。

A 人住まざる荒れたる宿を来てみれば今ぞ紅葉の錦織りける

見て、女いと心うきものから、あはれに思はえければ、

B 涙さへ時雨にそひてふるさは紅葉の色もこそぞまさされる

とて、ねずもちの紅葉にさしてなむやりける。

女いと心うきものから
 あはれに思はえければ
 ねずもちの紅葉にさして
 なむやりける

〔伊勢集〕

問一 傍線部①は、誰のどのような行為か。詳しく説明しなさい。

問二 傍線部②は、誰のどのような心情を示しているか。詳しく説明しなさい。

問三 Bの歌について、Aの歌に対する答歌であるということを踏まえて詳しく説明しなさい。

問四 影印部分をすべて翻刻しなさい。

三 次の文章は、山田美妙「言文一致論概略」(明治二十一年)の最初の部分です(仮名遣いは原文のまま、字体を現代通行の字体に改めてあります)。これを読んで、後の問いに答えなさい。なお、この時代の「俗語」は、現在いう「口語」に近い意味で使われています。

(この問題について解答用紙一枚を用い、縦書きにすること)

①今日言文一致を主唱する学者には二種類が有つて、一方は言を文に近づける事、又一方は文を言に近づける事を主唱します。言を文に近づけやうと思ふ人の過半は所謂普通文論者で、文を言に近づけやうと思ふ人の過半は所謂言文一致論者です。其外には外国語を輸入し、外国の文法を受継ぎ、そして此国の言語や文章を作らうと云ふ人も有ります。が、是等の説は取るにも足らぬ物ゆゑ弁難するには及びません。唯今日勢力のあるのは前の普通文の説と言文一致即ち俗文の説とゆゑ、爰で小生が言ふ事も主に其等に関係した事です。

普通文論者が俗文論者の説を駁撃するには大抵次の三箇条を眼目とします。

- 第一 若し我々が今日の俗語を此儘文章に用ゐるなら日本国中で通ぜぬ事が有るだらう。
- 第二 今日俗語は明日の古語となるだらう。
- 第三 今日俗語は不完全な物で文法も何も持つて居ない。

此外に又今日の俗語は如何にも下卑て居るとの考を持つて居る者も有ります。が、此意見を持つ者は大抵言葉の性質や効用をば全く知らぬものゝみゆゑ、其等が出した此惡評には改めて答へるにも及ばぬものゝ、併し言の序ゆゑ仮に爰では是を前の三箇条に加へ、第四箇条として述べまじやう。

第一 「若し我々が今日の俗語を此儘文章に用ゐるなら日本国中で通ぜぬ事が有るだらう。」 是は一応道理の有る説です。が、此駁撃は俗文論者の説を十分に明らぬ所から起るので、余人は兎に角、小生に限つては小生が主唱する言文一致体を造るに於ては決してどの言葉でも構はず用ゐるが善いとは言ひません。実に大坂の「さかい」や奥州の「なす」や又は長崎の「ばつてん」などは、其実古語に基づいて居るにもせよ、②普通の言葉とは言へますまい。又薩摩や隠岐や安房の俗語など、是も古文の変つた物とは言へ、普通の語法とは言へますまい。普通の言葉とは言はれぬもの、又は普通の語法とは言はれぬ物を構はず文章に用ゐるなら、如何にも不通の害は有りますやう。もし左様でないなら其様な事は有りますまい。それには普通の言葉を見出し、普通の語法を探出し、それを用ゐる事さへ出来れば最早十分の事じやう。

今東京語の性質を精密に吟味して見ると実に此言葉ばかりが前の注文に合ふ様です。事実から文を見ても東京語が通ぜぬ度は薩州語や奥州語が通ぜぬ度よりは軽いです。何処でも此東京語が不十分ながらも通用せぬ処は殆ど無い程です。是は何から出たのでしやう。

此通り東京語が可なり此国に普通なのは普通であるべき原因が必ず無くはなりません。その原因は何でしやう。

日本語の変遷(殊に東京語の)を充分に調べると其原因は直に見えます。世間の人は今日の俗語を偶然に出来たものと思ひますが決して左様では有りません。細密な証拠などは一切爰では省きますが、まづ今迄の日本語の変遷には二個の大時期が有つて、其第一期は太古から後醍醐天皇の頃まで。其第二期は後龜山天皇の頃から今日まで。此二期の大時期に明かな区別が有るやうです。其間に又多少の時期が交つて居なくはありません。が、それらは些細なものゆゑ此処で言ふ程でも有りません。さて前期の語すなはち上代の語は其盛であつた頃が藤原氏の榮えて居た時、すなはち文弱の風が行はれて居た時代ゆゑ、猶冗長なる性質を全く脱しませんでしたが、段々年の過ぎるに従つて武臣の権も重くなりましたので、いはゆる坂東訛の様な、猛々しい音調の語と語法とが起り、其中には選語や仏語なども沢山に混じて来ました。加之、頼朝の覇業を北条が継いだ頃になつては大きに古来の語法も変化して来て、所謂今日の俗語の種子は既に爰で蒔かれました。(古今著聞集など其頃に出来た書物の中の俗語、参考)その原因は中々有りますが、第一に力の有つたのは源平の戦争で、戦争は移住に変化を起す物ゆゑ、従つて言葉にも相混合する便利を与へ、終に著しい変化を呼起します。

後期の最初は既に南北朝の戦争をも経て居ましたから、言語の変化は更に烈しく、今日の俗語は大抵爰で芽を出しました。

(一休和尚の狂歌など其頃に出来た俗語の文章、参考)人に因つては大平記や徒然草などを持出して其頃の俗語の手本として見せ

(三枚目／六枚中)

ることもありますが、それは無識な誤謬で、言文一致の思想は全く其頃の人の脳には無く、又は全く古文に基づき、俗語はそれと離れて居たといふ眼目を見過ぐして居る議論、取るべき物では有りません。是から幸にも世は戦乱の雲に鎖されましたので、語法の変化の途も開け、終に慶長の頃に至つてはそれ迄の言葉も十分に変化の上、幹を作つて枝を出しました。(3)おあん物語、玉音抄、真田氏大坂陣略記など証拠は沢山あります)それから天下は平になりました。そして時の制度は封建でした。諸大名は言語の相異を互に其国々の標準として居ました。まして交通の便利は殆ど言語に絶えた程でしたから、舌を争んで居る梅も開くことが出来ません。昨年の薩摩は今年も薩摩、今日の奥州は明日も奥州、蚕も蝶とは為れません。処が、妙でした江戸ばかりが。江戸には中央政府も有りましたらう。江戸には参勤交代が有りましたらう。筑紫の果の商人も、越路の奥の武士達も皆江戸へ入込みましたらう。そこで独り江戸ばかりで言語の混合が出来ました。その上に又江戸言葉は諸国に尊ばれて居ました。従つて諸国の人々も幾分か江戸言葉の語法には多く近付になつて居ました。それゆゑ終に江戸言葉が可なり普通となるまいと思つたとても叶ひません。これで今日も東京語が猶全勝を占めて居ます。

今日の東京語が可なり普通である原因は即ち前の通りです。(4)今日の東京語が可なり普通であるとの結果は事実上相違無い事です。現在の処に於ては結果も原因も全く正しい物でしやう。未来に於てはそれなら、どうです。が、今日の東京は未来にも日本の首府です。未来に於ても東京で言葉の互に混合する望は全く有るでしやう。そして地方の交通は次第に自由になつて行きます。即ち、中心の一点から四方へ伝はる環の途に障碍は無くなります。即ち東京の語法は是から益々諸方へ普通になります。又普通になつて行く内には幾分か反動をも受けまじやう。けれど未来の変化の様は木からはえる竹の様では無く、必ず猫に似る虎でしやう、炭に似る金剛石でしやう。それなら今日の方策として今日の俗語を基とし、それに文法の束縛を加へ、その我儘な進歩を矯直して行くならば美事完全な文章は、実に充分なる言葉は容易く出来るに違無いです。既に此通りに事が行はれるならば普通文論者が出す第一の駁撃は苦も無く消えて仕舞ひまじやう。

問一 傍線部①の、最初の二重傍線部「言文一致」の意味を、後の二重傍線部の「所謂言文一致論者」の「言文一致」との違いが明瞭になるように説明しなさい。

問二 傍線部②以下に見える「普通の言葉」「普通の語法」「東京語が可なり普通である」などの「普通」は、この時代に屢々使われていた意味で使われていますが、「普」「通」の字義を参考にしながら、「普通の言葉」の意味を説明しなさい。

問三 傍線部③「おあん物語」(「おあむ物語」)について、知るところを簡単に述べなさい。

問四 傍線部④にも見えるように、この文章における「東京語」の位置づけは、言文一致論に留らず、近現代における標準語(「国語・全国共通語」)について語られる際の「東京語」の位置づけと共通する点が多いが、この文章に見える地方の言葉の位置づけも、近現代において東京語に基づいた言葉を全国に広げようとする中での地方の言葉の扱いを想起させます。全国共通語化が進められてきた中での地方の言葉の扱われ方について、知るところを述べなさい。

問五 山田美妙について知るところを、日本語についての業績を中心に述べなさい(文学的実践について述べてもよいが、日本語に関わる部分(文体・音調研究・辞書編纂など)を中心とすること)。

* 日本文学専攻予定のものは三(A)を、日本語史学専攻予定のものは三(B)を選択しなさい。

三(A) 次の文章は、泉鏡花の小説『外科室』(一八九五)の後半です。これを読んで、後の問いに答えなさい。

(この問題について解答用紙一枚を使い、縦書きにすること)

《引用は『鏡花全集 第二』(春陽堂、一九二七)五二二～五二四頁》

下

敷ふれば、はや九年前なり。高峰が其頃は、まだ醫科大學に學生なりし砌なりき。一日予は東とよもに、小石川なる植物園に散策しつ。五月五日躑躅の花盛なりし。東とよもに手を携へ、芳草の間を出つ、入りつ、園内の公園なる池を繞りて、咲揃ひたる藤を見つ。

歩を轉じて彼處なる躑躅の丘に上らむとて、池に添ひつゝ歩める時、彼方より來りたる、一群の觀客あり。一個洋服の扮装にて煙突帽を戴きたる蓄髯の漢先衛して、中に三人の婦人を圍みて、後よりもまた同様な漢來れり。東等は貴族の御者なりし。中なる三人の婦人等は、一樣に深張の涼傘を指擧して、裾捌の青最寄かに、するくと練來れる。ト行違ひざま高峰は、思はず後を見返りたり。

「見たか。」
高峰は頷きぬむ。

①
徑て丘に上りて躑躅を見たり。躑躅は美なりしなり。されど唯赤かりしのみ。傍のベンチに腰懸けたる、商人體の壯者あり。

「吉さん、今日は好いことをしたせなあ。」
「さうさね、偶にやお前の謂ふことを聞くも可いかな、淺草へ行つて此處へ來なかつたらうもんなら、拜まれるんぢやなかつたつけ。」
「何しろ、三人とも揃つてらあ、どれが桃やら櫻やらだ。」
「一人は丸髯ぢやあないか。」
「何の道はや御相談になるんぢやなし、丸髯でも、東髪でも、乃至しやくまでも何でも可い。」
「ところで、あの風ちやあ、是非、高島田と來る處を、銀杏と出たなあ何ういふ氣だらう。」
「銀杏、合點がいかぬかい。」
「え、わりい酒落だ。」
「何でも貴婦方がお忍びで、目立たぬやうにといふ肚だ。ね、それ、真中に水際が立つたらういま一人が影武者といふのだ。」
「そこでお召物は何と踏んだ。」
「藤色と踏んだよ。」
「え、藤色とはかりぢや、本讀が納まらねえぜ。足下のやうでもないぢやないか。」
「眩つてうなだれたね、おつと天窓が上らなかつた。」
「そこで帯から下へ目をつけたらう。」
「馬鹿をいはつし、勿體ない。見しやそれとも分かんぬ間だつたよ。あゝ殘惜い。」
「あのまた、歩行振といつたらなかつたよ。唯もう、すうツとかう霞に乗つて行くやうだつけ。裾捌、袷はづれなんといふことを、なるほど見は今日が最初てよ。何うもお宵柄はまた格別違つたもんだ。ありやもう自然、天然と奉上に

(五枚目／六枚中)

なつたんだな。何うして下界の奴僕が眞似ようたつて出来るものか。」

「酷くいふな。」

「ほんのこつだが私やそれ御存じの通り、北脚を三年が間に金毘羅に斷つたといふもんだ。處が、何のことあない。肌守を懸けて、夜中に土境を通らうぢやあないか。罰のあたらないのが不思議さね。もうく今日といふ今日は發心切つた。あの醜態ども何うするものか。見なさい、アレくちらほらとかう北處いらに、赤いものがちらつが、何うだ。まるでそら、芥塵か、蛆が蠢めて居るやうに見えるぢやあないか。馬鹿々々しい。」

「これはきびしいね。」

「申さぢやあない。あれ見な、やつぱりそれ手があつて、足で立つて、着物も羽織もぞろりとお召で、おんなじ様な編髪で立つてる處は、憚りながらこれ人間の女だ、然も女の新遣だ。女の新遣に違ひはないが、今拜んだのと較べて、何うだい。まるでもつて、くすぶつて、何といつて可いか汚れ切つて居らあ。あれもおんなじ女だつさ、へむ、聞いて呆れらい。」

「おやく、何うした大變なことを謂出したぜ。しかし全くだよ。私もさ、今まではかう、ちよいとした女を見ると、ついそのなんだ。一所に歩くお前にも、随分迷惑を懸けたつが、今のを見てからもうく胸がすつきりした。何だかせいくとする、以來女はぶつよりだ。」

「それぢやあ生涯ありつけまいぜ。源吉とやら、みづからは、とあの態様が、言ひさうもないからね。」

「罰があたりあ、あてこともない。」

「でも、あなたやあ、と來たら何うする。」

「正直な處、私は通けるよ。」

「足下もか。」

「え、君は。」

「私も通けるよ。」と目を合せつ。しばらく言途絶えたり。

「高峰、ちつと歩かうか。」

予は高峰と共に立上りて、速く彼の壯俊を離れし時、高峰はさも感じたる面色にて、

「あ、眞の美の人を動かすことあの通りさ、君はお手のものだ、勉強し給へ。」

予は畫師たるが故に動かされぬ。行くこと數百歩、彼の極の大樹の鬱蒼たる木の下蔭の、稍薄暗きあたりを行く藤色の衣の端を速くよりちらとぞ見たる。

園を出づれば女高く肥えたる馬二頭立て、磨硝子入りたる馬車に、三個の馬丁休らひたりき。其後九年を経て病院の

彼のことありしまで、高峰は彼の婦人のことにつきて、予にすら一言をも語らざりしかど、年齢に於ても、地位に於ても、

高峰は望みざらざるべからざる身なるにも關らず、家を納むる夫人なく、然も某は學生たりし時代より品行一層謹嚴にてありしなり。予は多くを謂はざるべし。

青山の墓地と、谷中の墓地と所こそは變りたれ、同一日に前後して相逝けり。

語を寄す、天下の宗教家、渠等二人は罪惡ありて、天に行くことを得ざるべきか。

問一 傍線部①には、どのような言外の意味がこめられているか、説明しなさい。

問二 傍線部②の発言内容を、わかりやすく説明しなさい。

問三 傍線部③において、「予」は何を語っていないのか、考えるところを述べなさい。

問四 泉鏡花という作家の文学史上の位置について、知っていることを説明しなさい。

(六枚目／六枚中)

*日本文学専攻予定のものは三(A)を、日本語史学専攻予定のものは三(B)を選択しなさい。

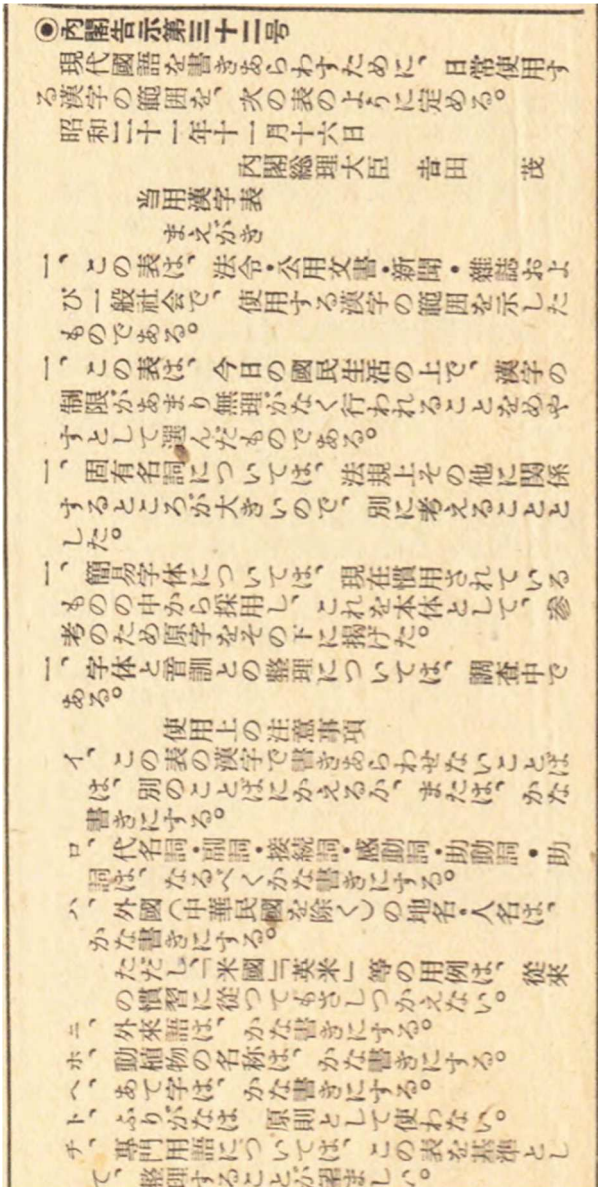
三(B) 次の問に答えなさい。(この問題について解答用紙一枚を使い、縦書きにすること)

問一 次の用語・事項について知るところを述べなさい。

- (イ) 可能動詞
- (ロ) 往来物
- (ハ) ライマンの法則

問二 次の資料は、「当用漢字表」(『官報』一九四六年十一月十六日)の冒頭です。これを読み、この資料の日本語史上の位置づけを論じなさい。

<https://dl.ndl.go.jp/ja/pid/11286406/1/1>



(後略)

令和6（2024）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題

日本学専攻 基盤日本学コース（基盤日本語学受験分野） 専門試験

[問題用紙は3枚です。]

（1枚目/3枚中）

[1] 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

出典：大堀壽夫（2002）『認知言語学』東京大学出版会（1～3頁13行まで）

(2枚目/3枚中)

- 問1 下線部 (a)「認知活動によって構成されたもの」について、本文中にあげられている例以外の日本語の例を2つあげなさい。
- 問2 下線部 (b)「まことらしさ」とはどういうことか、本文中および問1の解答にあげられている例以外の日本語の例を用い、本文の内容に即して具体的に説明しなさい。
- 問3 本文冒頭の二重下線部「問題意識」に関して、あなたは言語についてどのような問題意識をもって研究を行おうとしているか。本文の内容を参照しつつ、あなたが取り組もうとする具体的な研究テーマ、具体的な言語事象などを明記して述べなさい。

(3枚目/3枚中)

[2] 次の14項目のなかから5項目を選び、それぞれについて5行から10行程度で説明しなさい。

- (1) 基本語彙
- (2) KWIC
- (3) 言語の種類
- (4) アクセント核
- (5) 主語
- (6) 陳述副詞
- (7) 音象徴
- (8) 異形態
- (9) コイネー
- (10) ドリフト
- (11) バイリンガル
- (12) 漢字制限論
- (13) インポライトネス
- (14) フレーム

[3] あなたが今後研究しようとするテーマに関連するキーワードを5つあげ、それぞれについて5行から10行程度で説明しなさい。

令和6(2024)年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程/一般選抜・秋期試験) 入学者選抜試験問題

芸術学専攻 アート・メディア論コース 専門試験

[問題用紙は2枚です。]

(1枚目/2枚中)

問1 次に挙げる8つの用語もしくは固有名詞のなかから自由に5つを選び、それぞれを5行程度の日本語で説明しなさい。

- (1) 堀口捨己 (2) ポストモダン建築 (3) ドイツ表現主義映画 (4) VHS
(5) バーレスク (6) ウィリアム・フォーサイス (7) ストリーミング (8) 繰り返しショット

問2 次に挙げる4つの設問A~Dの内から自由に2つを選び、日本語で解答しなさい。

A 別紙の写真1は旧大阪中央郵便局の往時の姿です。現在この建物は取り壊され、跡地にはJP TOWER OSAKA (KITTE)が計画され、2024年春の開業にむけて建設が進んでいます。計画ではビルの一階部分に、町の記憶を継承する目的で、旧大阪郵便局舎の一部が移築され、活用されることになっています(別紙・写真2)。以上をふまえて、以下の2つの問いに答えなさい。

- 1: 旧大阪中央郵便局(写真1)の建築様式および同建物の歴史的意義について考察しなさい。
2: この建設計画における旧局舎の保存活用の方法について、あなたはどのように評価しますか。これ以外の方法で歴史的建造物の活用・保存を行った国内外の事例を複数挙げ、比較しながら考察しなさい。

B サウンドトラックが重要な役割を果たしている映画の例を挙げ、具体的な場面の分析を通して、映像と音声がいかに関わり合っているか、論じてください。

C 有名なファッションデザイナーが衣裳を手がけた舞台芸術作品について、具体例を挙げ、アートとファッションが相互にどのような効果を生みだしたか、考察しなさい。

D NHK 紅白歌合戦に出演した AI 美空ひばりなど、デジタル文化の発展が惹起する創造と倫理問題について、事例を挙げて論じてください。

(2枚目/2枚中)

別紙

写真は著作権等に配慮し、省略します。

写真1:旧大阪中央郵便局舎(2012年撮影)

写真は著作権等に配慮し、省略します。

写真2:JP TOWER OSAKA(KITTE) 一階部分 計画イメージ

出典:<https://jptower-kitte-osaka.jp> (最終閲覧日:2023年8月19日)

令和6（2024）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻

（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題

芸術学専攻 美学・文芸学コース（美学受験分野）専門試験

[問題用紙は2枚です]

（1枚目 / 2枚中）

すべて日本語で解答しなさい。

解答の文字数は問いません。

長文になるときは段落ごとに内容を整理すること。

- 問1 次の9つの語のうち2つの語を選び、それぞれについて、その語の意味を確認したうえで、その語によって何が問題になってきたか、何が問題となりうるのかについて論じなさい。

(30×2=60点)

参加	様式	フォーリズム
空間	表現	美的判断
解釈	模倣	集団の創造性

- 問2 別紙の文章のなかで、著者は、美術批評の成立についてどのように説明していますか。その内容をわかりやすく解説しなさい。なお、本文中の太字部分や、記号「^」については、気にかける必要はありません。(30点)

出典：Jonathan Harris, "Criticism Critic, Critical, Critique", in *Art History: The Key Concepts* (Routledge, 2006), p.78, l.1 - p.79, l.11.

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。

- 問3 たとえば、音楽批評もしくは映画批評のように、あなたの研究分野における批評の問題について論じなさい。その際、幾つかの批評の種類をあげて、それぞれの批評基準について説明し、そこでなされる良し悪しの判断について十分な考察をおこなうこと。(60点)

令和6（2024）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題
芸術学専攻 音楽学・演劇学コース（音楽学受験分野） 専門試験

〔問題用紙は4枚です。〕

（1枚目/4枚中）

以下の問1～3について、解答用紙に「問1」「問2」「問3」と記入した上で、解答しなさい。

問1 別紙Aの文章を読み、次の2つの問いに答えなさい。

A) ここからひきだすことのできる音楽学的問題をできるだけ多く挙げなさい。

B) 上記の問題のうち一つ（あるいは関連のあるものいくつか）について、他の事例や論点などと関連づけながらあなた自身の言葉で論じなさい。

〔出典：『神戸新聞NEXT』2023年4月24日発信〕〔配点40点〕

問2 別紙Bに掲げる英文を日本語に訳しなさい。〔出典：Pieter C. van den Toorn, “Metrical Displacement in Stravinsky” in *Mitteilungen der Paul Sacher Stiftung*, Nr.11 (April 1998), , p.24, 1.1-15.〕〔配点50点〕

問3 別紙Cの英文を読んで以下の問いに答えなさい。〔出典：Ingrid Monson, “Riffs, Repetition, and Theories of Globalization”, *Ethnomusicology*, Winter 1999, Vol.43, No.1, p.31, 1.1-29.〕〔配点60点〕

(1) 全文を日本語に訳しなさい。

(2) 2段落目の内容に対して反論を試みなさい。

(2枚目/4枚中)

別紙A

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。
なお、出典は問題文のとおりです。

(3枚目/4枚中)
別紙B

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。
なお、出典は問題文のとおりです。

(4枚目／4枚中)

別紙C

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。
なお、出典は問題文のとおりです。

令和6（2024）年度
大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題
芸術学専攻 音楽学・演劇学コース（演劇学受験分野） 専門試験
[問題用紙は3枚です。]
(1枚目/3枚中)

問1 以下の6つの語すべてについて、それぞれ100字程度の日本語で説明しなさい。

- (1) マックス・ラインハルト (2) 『幽霊』 (3) 「演劇の再演劇化」
(4) 『花鏡』 (5) 時代物 (6) 風流踊

問2 選択問題です。設問1、設問2のどちらかを選んで日本語で解答してください。

設問1) 別紙1はRichard C. Beacham, *Adolphe Appia : Texts on Theatre*, Routledge, 1993, p.3,1.8-1.38
の文章です。この文章を読み、(1)～(4)に答えなさい。

- (1) 下線部(A)とあるが、どういう意味か。説明しなさい。
(2) 下線部(B)とあるが、この記述の内容をよく示す、ヨーロッパの劇場を具体的に一つ
あげ、それに即してこの内容を説明しなさい。
(3) 第3パラグラフの(C)の部分について、日本語に訳しなさい。
(4) 下線部(D)とあるが、Appiaはどのような演劇を制作しようとしたのか、この文章全体
の意味合いを考慮しつつ、具体的に説明しなさい。

設問2) 別紙2は、『法音抄』巻五（法政大学能楽研究所編『法音抄Ⅲ』能楽資料集成8、1978
年、わんや書店、80～81頁）より、能『野宮』の末尾の詞章「又車にうち乗て火宅の門をや出
ぬらん」に対する注釈です。この文章を読み、(1)～(3)に答えなさい。

- (1) 翻刻の方針（凡例）を示したうえで、全文を翻刻しなさい。
(2) 能『野宮』ではシテの六条御息所が、鳥居から足を一步踏み出て、すぐに足を引っ込める
場面が有名です。『法音抄』の説を参考すれば、能『野宮』における鳥居とは何を象徴してい
ると考えられるか、説明しなさい。
(3) 『法音抄』の著者は、能『野宮』の作意のすばらしさはどこにあると述べているのか、説
明しなさい。

問3 リアリズム演劇を追求した任意の演劇人をあげ、あなたが考える演劇史上の位置づけや意
義を自由に日本語で論じなさい。

(2枚目/3枚中)

(別紙1)

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

Richard C. Beacham, *Adolphe Appia : Texts on Theatre*, Routledge, 1993, p.3,1.8-1.38

(3枚目/3枚中)

(別紙2)

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。

『法音抄』巻五（法政大学能楽研究所編『法音抄Ⅲ』能楽資料集成8、1978年、わんや書店、80～81頁）

令和 6 (2024) 年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
(博士前期課程／一般選抜・秋期試験) 入学者選抜試験問題

芸術学専攻 日本東洋美術史・西洋美術史コース (日本東洋美術史受験分野) 専門試験

[問題用紙は 4 枚です。]

問 1 以下の用語のうち 4 つを選び、それぞれ 100 字程度で説明しなさい。

[配点 32 点]

- 1) シュプレマティズム
- 2) シャルトル大聖堂
- 3) ヤコポ・ダ・ポントルモ
- 4) 塙仏
- 5) 彫塗
- 6) 明兆

問 2 別紙 1 の問題に答えなさい。[配点 38 点]

問 3 別紙 2 は「俵藤太物語」(刊本、17 世紀) の一部です。全文を翻刻しなさい。[配点 20 点]

問 4 別紙 3 は祥啓筆「山水図」(室町時代 15 世紀、一幅、根津美術館蔵) です。図様を詳しく記述したうえで、あなたが考えるこの作品の魅力について述べなさい。[配点 60 点]

別紙 1

次の文は、『長谷寺縁起文』（『大日本仏教全書』 寺誌叢書第三所収）の冒頭の一節です。これを読んで、後の設問に答えなさい。

画像は著作権等に配慮し、掲載を省略します。

語注 儻…なんじ

所化…教化され、導かれること。

陽谷…中国で太陽がのぼると考えられた東の果て。転じて「日本」の称。

磯馭鷹嶋…おのころじま。記紀で、伊邪那岐命と伊邪那美命の二神がはじめてつくった島。転じて「日本」の称。

水穂國…みずみずしい稲穂の実る国。「日本」の美称。

豊山…長谷寺の山号。

砌…みぎり。ここでは「場所」の意。

卜筮…ぼくぜい。占うこと。

自手…てすから。

設問 三行目「此豊山有二名」から末尾までの大意を記しなさい。

画像は著作権等に配慮し、掲載を省略します。

3 枚目/4 枚中

図は祥啓筆「山水図」
(根津美術館蔵)です。

令和6（2024）年度

大阪大学大学院人文学研究科 人文学専攻・日本学専攻基盤日本学コース・芸術学専攻
（博士前期課程／一般選抜・秋期試験）入学者選抜試験問題

芸術学専攻 日本東洋美術史・西洋美術史コース（西洋美術史受験分野） 専門試験

[問題用紙は4枚です。]

（1枚目/4枚中）

問1 以下の用語の内4つを選び、それぞれ100字程度で説明しなさい。 [配点32点]

- | | | |
|--------------|-------------|----------------|
| 1) 塙仏 | 2) 彫塗 | 3) 明兆 |
| 4) シュプレマティズム | 5) シャルトル大聖堂 | 6) ヤコポ・ダ・ポントルモ |

問2 問題用紙2枚目の英文を読み、全文を日本語に直しなさい。 [配点58点]

* 出典：Lisa Jardine and Jerry Brotton. *Global Interests. Renaissance Art between East and West*, Ithaca: Cornell University Press, 2000: p.11/l.26-12/l.26 (脚注省略)

問3 問題用紙3-4枚目にある2点の画像AとBを見て、それぞれの絵画作品のおおよその制作時期、制作地域、可能ならば作者について所見をのべなさい。そのうえで2点の作品を比較し、美術史的に重要と思うことがらを論じなさい。 [配点60点]

(2枚目4枚中)

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。
出典は問題文のとおりです。

(3 枚目/4 枚中) 画像 A



(4 枚目/4 枚中) 画像 B

